

第参回 奉納演武会



館

人に斬られない技術と
人を斬らない心を学ぶこと

鞘の内

居合とは

己を修めて 平らかな道

人に斬られず 人斬らず

居合とは

居合口道

【期日】平成27年11月1日【会場】川越 蓮馨寺境内

午前9時半演武開始

川越市連雀町7-1
(雨天時は講堂一階)

滞在後七十三歳で奥州へ旅立ち、消息不明となる。享保元年七月三十日没後九十八年目、川越蓮馨寺にて勤兵衛の曾孫奥幸四郎が施主となり法要を営む。昭和五十七年十二月に追悼のため木碑が建てられた。平成二十五年十一月に顕彰碑建立を記念して第二回演武会が開催される。



居合の始祖林崎甚助重信は、山形県村山市で生まれ、父朝野数馬を討ち討ちた坂上主膳という兵法者に仇討ちするため剣の修行に励んだ。林崎明神に参籠して居合の妙技に開眼して、永禄四年京都で坂上を討つ。元和元年、二月に武州川越在住の甥、高松勘兵衛を訪れて七月まで

主催 林崎甚助重信師を偲ぶ会 ~尚武館・士魂会・剣心館/後援 川越市・川越市教育委員会・川越商工会議所
公益社団法人 小江戸川越観光協会